

普及活動情勢報告（令和7年1月分）

幡多農業振興センター農業改良普及課

保育園児とのジャガイモ収穫！

～宿毛4Hクラブ 食育活動～



12月18日、宿毛市の二ノ宮保育園で、ジャガイモ収穫が行われ、クラブ員7名、園児17名、関係機関4名が参加しました。

農業改良普及課は、保育園との日程調整や当日の作業の手伝いなどをしました。

園児たちは、宿毛4Hクラブ会長からジャガイモの収穫方法を教わり、9月に植えたジャガイモを一生懸命引き抜きました。

農業改良普及課は、宿毛4Hクラブが行う出前授業や農業者イベントの開催に向けた支援を行います。

青果出荷量減の対策の徹底を！

～JA西土佐柚子部会総会～



12月23日、JA西土佐出張所で、西土佐柚子部会の総会が行われ、農家27名と関係機関5名が参加しました。

農業改良普及課からは、高温だった今年度の気象を振り返り、青果出荷激減の原因となったカメムシとハナアザミウマの対策について情報提供しました。併せて、県が勧めている家族経営協定についても説明しました。

農家は害虫の対策について、熱心にメモを取っていました。

今後も幅広い取組で、柚子の生産振興に取り組んでいきます。

収量アップを目指して！

～JA西土佐米ナス部会反省会～



12月25日、JA西土佐出張所で、西土佐米ナス部会の反省会が行われ、農家10名と関係機関6名が参加しました。

農業改良普及課からは、今年度実施した高温対策の現地実証ほとかん水調査の結果を報告し、次年度の調査協力をお願いしました。

農家からは、「次年度は高温対策が必要だ」「単価は良かったが、出荷量が少なくお金にならなかった」「ハウス栽培の初期は収量が取れるが、後半は取れていない」「単価の高い時期に生産量を増やさないとお金にならない」等の意見がありました。

次作に向けて、今後もJA北幡営農センターと連携して、夏期の高温対策を中心に、米ナスの生産振興に取り組んでいきます。

環境データで「すくも文旦」を盛り上げよう！

～すくも文旦育成会～



1月8日、宿毛市宇須々木のほ場で、環境データ試験ほ（かん水）の収量調査が行われ、実証農家1名、関係機関5名が参加しました。

農業改良普及課からは、環境データ（土壌水分、降雨量、温度等）や果実肥大の推移について説明しました。

農家からは、「収量に差は出ているか」「かん水処理区が明らかに玉が大きく、効果が出ている」などの声がありました。

今後は、収穫した果実の分析を行い、講習会等を開催し、すくも文旦育成会の栽培技術の向上と活動を支援していきます。

令和7年度の水稲栽培に向けて

～JA中村支所水稲部会役員会～



1月9日、JA中村支所やさい集荷場で、JA中村支所水稲部会役員会が行われ、農家7名、関係機関2名が参加しました。

農業改良普及課からは、今年度中に中村地区で実施した奨励品種決定現地調査試験と鶏糞を使った低コスト施肥体系実証ほの結果について報告し、併せて高温対策について情報提供しました。

農家からは、「普通期稲で不稔障害が発生したが、対策はあるのか」「試験で有望な品種はあったのか」などの質問がありました。

今後は育苗講習会を開催し、水稲農家の栽培支援に取り組んでいきます。

水稲栽培の振り返りと今後の対策について

～JA宿毛支所水稲栽培講習会～



1月9日、JA宿毛支所で、水稲栽培講習会が行われ、農家31名、関係機関4名が参加しました。

農業改良普及課からは、奨励品種決定現地調査試験と鶏糞を用いた実証ほ調査の結果について報告し、高温障害と病気の対策についても情報提供しました。

農家からは、「毎年同じ田んぼで水稲を栽培すると、紋枯病菌が増えてしまうのか」「次作は高温期に出穂しないように注意して植え付けたい」などの声がありました。

今後も、調査結果や高温障害対策などについて情報提供し、水稲農家を支援していきます。